

## < 会員投稿 >

### 「熱海」を旅して・・・

篠崎 辰夫

2年ほど前、妻が体調を崩して一時生活環境が一変したが、幸い快復しほぼ元の生活に戻ってきた。ただ再発の心配があるため遠出の旅などはずっと控えていたが、そろそろいいだろうと5月の大型連休明けに「熱海」への一泊旅行に出かけた。

熱海はもう40年以上前、会社の保養所に家族で行った以来のこと。その保養所はもうない。JR東海道線と高崎線が上野東京ラインで直結して、熊谷・熱海間が乗り換えなしで3時間ほどで行ける。リーズナブルなプチ旅行を楽しむには、熱海はちょうどいい。

まず、駅前の案内所で周遊バスの一泊フリーパスを購入。案内所の係員から、今からだと渋滞や混雑であまり回れませんよ、と脅されたが、大型連休明けの平日もあって観光客はそんなに多くなく拍子抜け。きっと連休中は大混雑だったのだろう。

最初に行ったのが、ネットで調べてイチ押しだった「MOA（エム・オー・エー）美術館」。ここは素晴らしかった。まず総延長200mにおよぶ長いエスカレーターが圧巻（ちなみにMITSUBISHI製）。建物は豪華で、まるで神殿。無駄と思えるほど広い。国宝・重要文化財クラスの美術品を多数展示しているが、他に能楽堂や黄金の茶室、庭園、食事処等見どころ満載。美術館の高台から見る熱海の海も素晴らしい。こんなにすごい美術館があるなんて、熱海を見直した次第。（MOA美術館について詳しくは「[こちら](#)」（←クリック）をご覧ください。ホームページの「[美術館探訪](#)」（[MOA美術館](#)←クリック）にも掲載しています）

美術館で大分時間を費やしてしまったため、その後は「熱海城」だけとなってしまった。熱海の海岸をゆっくり散歩しようと思っていたが、あいにくの悪天候でそれも叶わなかった。

2日目は、小田原で途中下車して「鈴廣かまぼこ博物館」に立ち寄る。そこで見た「かまぼこ板絵」の「小さな美術館」も素晴らしかった。かまぼこ板をキャンバスにして絵を描いたもので、定期的に国際コンクールを開催してその入賞作品を展示している。有名人の作品もある。食べたあとに残るかまぼこ板にもう一度新たな命を吹き込み、アートを楽しむだけでなく、ものを大切に作る心を育もうというコンセプトがまた素晴らしい。

妻の順調な快復の感触を得るとともに、思いがけず大小2つの美術館にも触れ、収穫の多い旅でした。これまでは、車やバスの旅が多かったが、このようなのんびり自由な鉄道の旅もいい。まだ見どころいっぱい熱海にまたいつか行こうと思う。

2年前のほぼ1年間、我が家のスケジュール表は真っ白になり、皆さんに大変ご心配をおかけしました。この場をお借りし改めてお礼申し上げます。

## < 余談 >

今回、JR「大人の休日倶楽部」会員の乗車券3割引特典が、会員証を紛失して行使できなかった。古い会員手帳を処分した際に、手帳の中に入れておいた会員証も一緒に捨ててしまったようだ。今、クレジットカードやポイントカード、会員証などカード類がやたら増え、その保管と利用が非常に煩わしい。「マイナンバーカード」に一本化出来ないものか。せっかくのマイナンバーカードが、全くと言っていいほど役に立っていない。